

令和6年度 全国学力・学習状況調査の概要

藤井寺市教育委員会

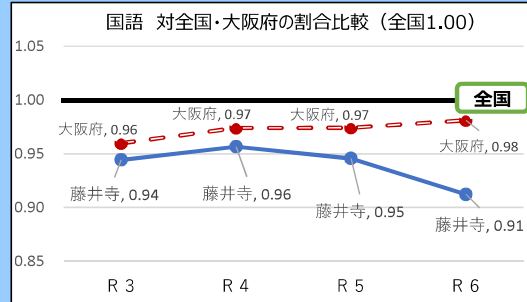
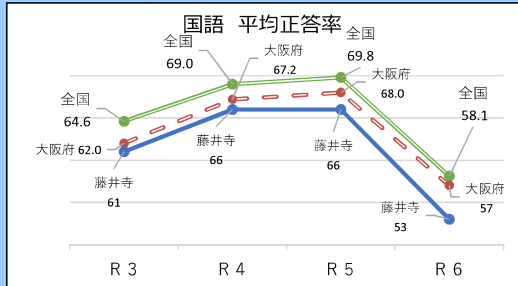
教科に関する調査の結果（中学校）

平均正答率（平均正答数）

教科	国語		数学	
藤井寺市	53	(7.9/15問)	46	(7.4/16問)
大阪府	57	(8.6/15問)	51	(8.2/16問)
全国	58.1	(8.7/15問)	52.5	(8.4/16問)

「全体の平均正答率」と「対全国との割合比較」

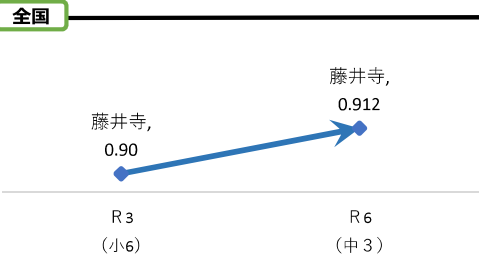
国語



※対全国比（全国の平均正答率を1とした場合の、藤井寺市（大阪府）の平均正答率を割合で表したもの）

小6（令和3年度）から中3（令和6年度）への同一集団の対全国比変容（平均正答率）

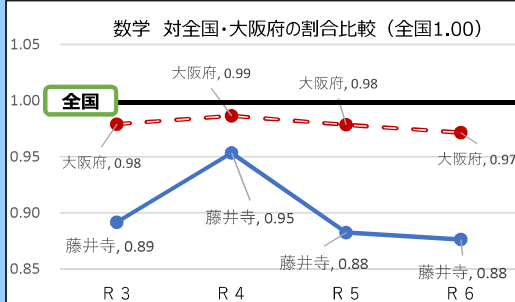
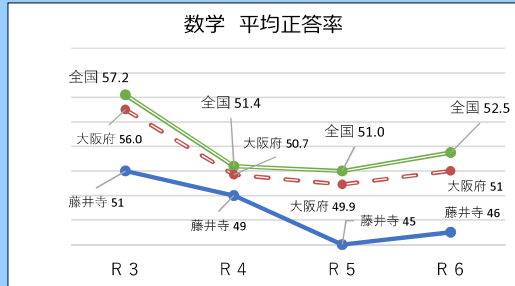
国語 小6から中3（同一集団比較）



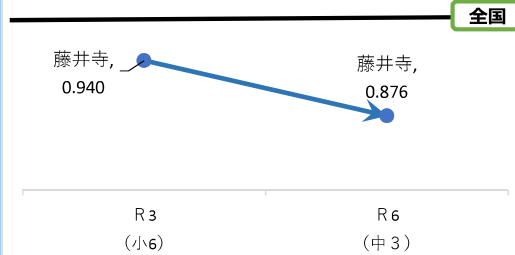
各教科の傾向

- ◆平均正答率は、国語、数学ともに全国平均、府平均を下回っている。平均正答率を対全国比（全国を1とした時の割合）の経年変化で見ると、国語、数学ともに課題が見られる。
- ◆小6（令和3年度）から中3（令和6年度）への同一集団の対全国比変容を見ると、国語については小6時と比較し、中3時の差が縮まった。

数学

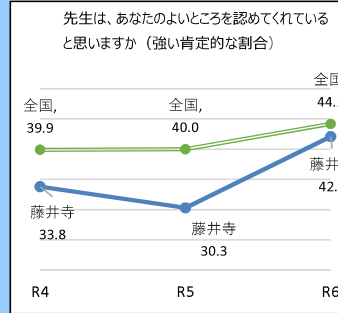
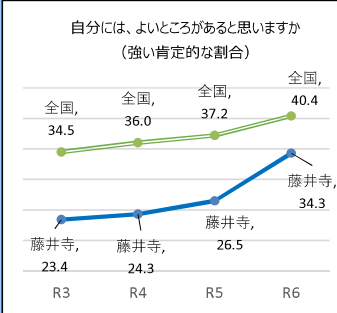


数学（算数） 小6から中3（同一集団比較）

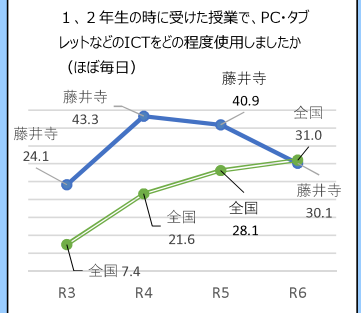


生徒質問紙調査の結果（中学校）

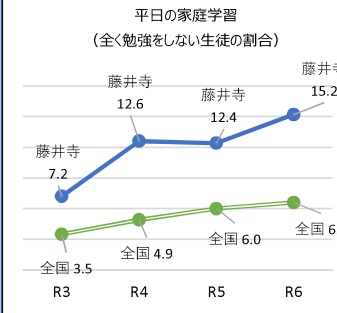
自己肯定感



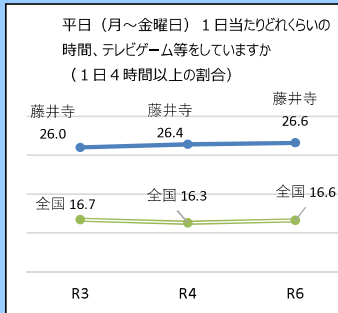
ICT活用



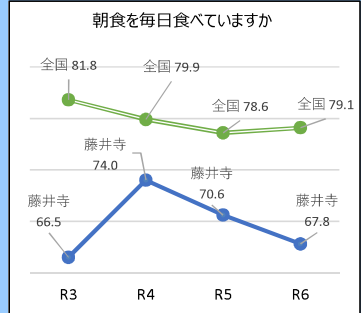
家庭学習



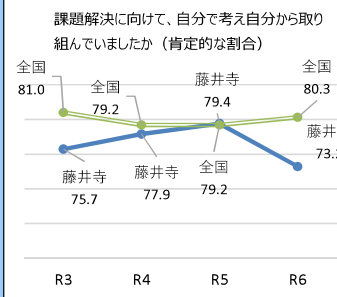
スクリーンタイム（ゲーム時間）



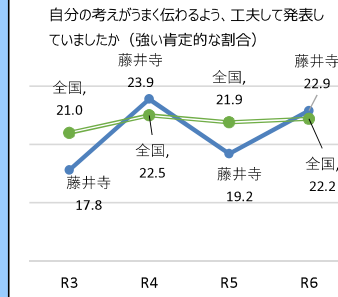
朝食



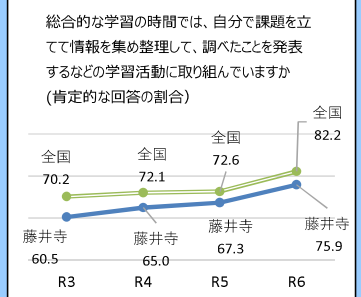
主体的に学ぶ力



アウトプットする力



探究的な学び



今年度の調査結果分析と取組について

質問紙調査から、「自分には、よいところがあると思いますか」の強い肯定的な回答が大きく向上し、全国に近づいています。また、「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」に対する強い肯定的な回答も大きく増加しており、各校での、子どもの自己肯定感を高める特色ある取組の成果が見られます。「ICTの活用」については、この間、「ほぼ毎日」と回答した生徒の割合が全国を大きく上回っていましたが、全国と同水準となりました。今後は、授業での積極的活用から効果的な活用への転換に向けて学校とともに取り組んでまいります。

一方で、継続して課題としている「平日に家庭学習を全くしない」生徒の割合や、ゲームを1日4時間以上する生徒の割合が全国を大きく上回っています。また、朝食の喫食率が継続して低下していることも心配です。この課題解決に向けては、引き続き学校と家庭の協力のもと家庭学習の習慣化、授業内容と関連付けた宿題の提示やタブレットPCの活用など、主体的に学べるような取組の工夫が必要と考えています。

本市が学力向上の課題・指標としている「主体的に学ぶ力」については減少しましたが、「アウトプットする力」については、強い肯定的な回答が、全国を上回りました。また、総合的な学習の時間における「探究的な学び」にかかる項目の肯定的な回答が増加傾向にあり、全国との差も縮まっています。今後とも、誰もが大切にされる集団づくりのもとに、子どもが主体的に学ぶ姿、他者と協働して学び合う姿、未来に向けて学び続ける姿をめざして、学校とともに取り組んでまいります。